

学校だより

【学校教育目標】「考え つながり 学び続ける子」

弘道小学校ブログ<http://koudoues.blog.fc2.com>

令和5年10月2日



文責 内海忠裕

週1~2回更新中。
ぜひご覧下さい。

令和5年度全国学力学習状況調査の結果から
～調査問題（国語・算数）、質問紙から見えてきたこと～

令和5年度全国学力学習状況調査の結果が公表され、本校の課題と今後の対応について取りまとめましたのでお知らせします。

この調査は、児童生徒の学力の一部を調査し、その状況を把握・分析することで、よりよい指導方法の工夫や取組の改善を進めていくことを目的としています。

8月に調査問題と質問紙の結果を全教員で分析し、9月から全校で授業改善および生活習慣定着などの取組に取り組んでいる所です。

「学校の力」「家庭の力」が、子どもの学力や非認知能力を伸ばすといわれていますので、保護者の皆様の一層のご理解とご協力をお願いいたします。

調査結果

	国語	算数
全国との比較	努力が必要	努力が必要

◆全学年の授業で重点的に取り組んでいくこと

- 1 どの教科でも、音読や書く活動（書く⇔読み返す・書く⇔助言し合う）を重視し、言葉の力とその活用力をアウトプットさせることで高める。
- 2 既習事項と関連付けたり、間違いを分析したりするなど、問題を解くカギを自ら見つけられるよう授業を仕組む。
- 3 国語や算数で学習したことの定着を図るため、総合的な学習の時間に表現の工夫やデータの分析活用など、相手意識を持たせた活用場面を仕組む。
- 4 「考え（主張）・根拠・理由付け」をセットにして表現させる。
- 5 「比較・分類・関連付け」の思考の仕方を示し、考えを表現させる。

◆特に全国と比較して正答率が低く、課題となる点と改善策

教科	本校の課題	分析結果と改善策
国語	書くこと	◆図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き方を工夫することができていない。 対策 目的に応じて複数の資料を選択し、資料と文章を関係づけながら情報をまとめる。国語の単元と総合的な学習の時間とを連動させるよう、計画する。
	話すこと 聞くこと	◆目的や意図に応じて話の内容をとらえ、話し手の考えと比較しながら自分の考えをまとめることができていない。 対策 条件を指定し、使うキーワードなどを指定しながら書く活動を大切にする。友達の考えに対する自分の考えを表現する機会を意図的計画的に設ける。

算数	データ活用	<p>◆ 2つのグラフからわかることを書いたり、複数のグラフを読み、見出した違いを言葉と数を用いて記述したりできていない。</p> <p>対策 算数、社会、理科などの教科で、複数のグラフの見方や何を表しているのかなどについて、考え表現することを意図的に行う。学活や総合的な学習の時間に、データを集め、数値を整理して表やグラフに表すなど、自分たちでデータを活用する機会を計画的に設ける。</p> <p>◆ 百分率で表された割合について理解できていない。</p> <p>対策 規準量や比較量などを視覚的に理解できるように示したり、身近な生活の中にある割合について考えたりするなど、児童の生活と関係づけて学ばせる。</p>
----	-------	--

児童質問紙から見えてきたこと

項目	質問内容	弘道小%	全国%
国語学習	国語の勉強が好きな児童	73.2	61.5
算数学習	算数の勉強が好きな児童	61.0	61.4
学校生活	学校に行くのが楽しいと思う児童	80.5	85.3
教師との関係	先生はあなたの良いところを認めてくれていると思う児童	87.8	89.8
非認知能力	物事を最後までやり遂げてうれしかったことがあると思う児童（豊岡市独自調査）	95.1	（なし）
	自分には良い所があると思う	90.2	83.5
	学級みんなで決めたことに取り組みうれしかったことがある（豊岡市独自調査）	92.7	（なし）
基本的生活習慣	毎日同じ時刻に寝ている児童	85.3	81.0
家庭学習時間	平日1日当たりの勉強時間が1時間以上の児童	48.9	57.1
読書	平日1日当たり30分以上読書する児童	39.0	37.3
	読書は好きだ	78.1	71.8

【学校では】

- 担任や図書ボランティアによる読み聞かせを一層大切にします。あわせて低学年から読書の習慣を定着させ、6年間かけて読書に親しむ子どもに育てます。
- 授業、学級活動、行事などのめあてを、非認知能力（やり抜く力、自制心、協働性）の視点でつくり、非認知能力向上の視点で振り返りをさせ、自分の成長に気付かせます。

【家庭では】

- 特に、『寝る時刻』について、3学期の生活定着週間で望ましい就寝時刻を学校から提案します。あわせて、テレビ・ゲーム・SNS・動画視聴の時間について、家庭内で話し合ってルールを決め、守り切らせましょう。Noメディアの日などの取組で強化しましょう。

読み聞かせ（読書）で育てよう 豊かな心

8割の子どもが読書好き！

毎月、読書ボランティアの皆さんにお世話になり、読み聞かせの活動をしていただいています。「今日はどんなお話かな？」と、子どもたちはこの時間をとても楽しみにしています。読書に親しむ機会を学校でも、家庭でも創ることがとても大事だと感じます。読み聞かせはそうした子どもの欲求を満たすものです。読み聞かせや読書は、「言葉を増やす」「情緒を安定させる」「想像力（イメージする力）を育む」と言われています。テレビやゲームなどメディアの時間の削減とセットで、家庭でも読書に親しむ取組を進めていきましょう。

中学生・小5/6年生を対象にした豊岡市立図書館の電子図書館の利用も進んでいます。

創立150周年記念事業で図書室の整備（図書の購入等）をしていただく予定です。地域の皆様の温かいご支援に、心から感謝申し上げます。ありがとうございます。